

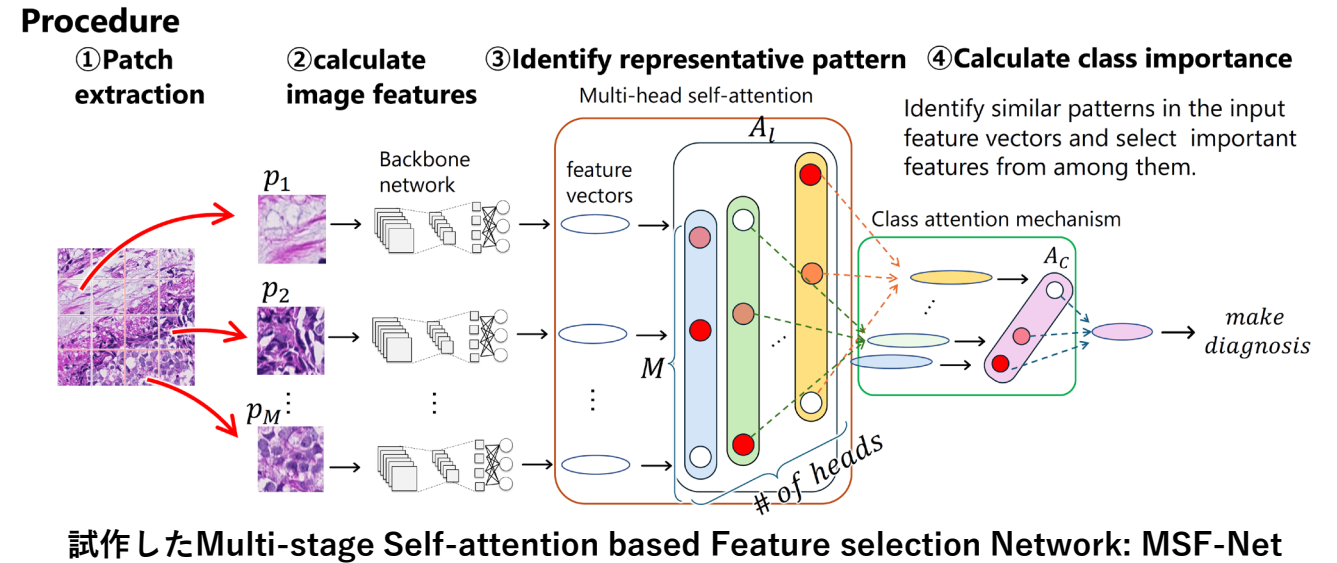
課題名：
少ない収集データによる高効率なAIの学習方法及び精度に関する検証

実施時期：2025/4/15 – 2026/3/30
所属機関名：産業技術総合研究所
代表者氏名：野里博和

成果概要：
本課題では、NEDO プロジェクト「AIの安全性確保に関する研究開発・検証などの推進事業／AIセーフティ強化に関する研究開発」において、AIセーフティ評価・管理技術の研究開発として取り組んだ、人間-AIチームングシステムの制御技術の研究開発を実施し、医療診断支援を対象とした少ない収集データにより高効率に学習したAI技術の安全性の検証を行った。

成果のポイント：

本研究課題での研究成果は、病理診断のタスクを対象とした医師とAIの人-AIチームングシステムを試作し、病理診断医による実際の診断を想定して検証したことである。試作システムでは、医師への説明性を向上させるための仕組みとして、複数の階層から抽出した特徴量を自動強調する手法を提案した。検証では、人とAIが協働して安全な意思決定をする上でのAI開発時の技術的課題について体系的にまとめた。



成果についてより詳細な情報を提供しているWebページ、発表論文などの情報：

- Interpretable Pathology Image Analysis using Multi-stage Feature Selection Network with Self-Attention Mechanism、上原 和樹、Kim Wonjik、野里 博和、坂無 英徳、第23回日本デジタルパソロジー・AI研究会総会、東京、2025/09/14
- <https://qai.pj.aist.go.jp/aisafety1/results/2025/1-3-2/> (5月中旬に公開予定の技術レポート)